



SECカーボン

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日

東証スタンダード **5304**

SECカーボン株式会社

目次

- 01. 2027/3期1Q 連結決算概要 p2
- 02. 2027/3期 連結決算見通し p10
- 03. APPENDIX p20

2027/3期1Q 連結決算概要

01.

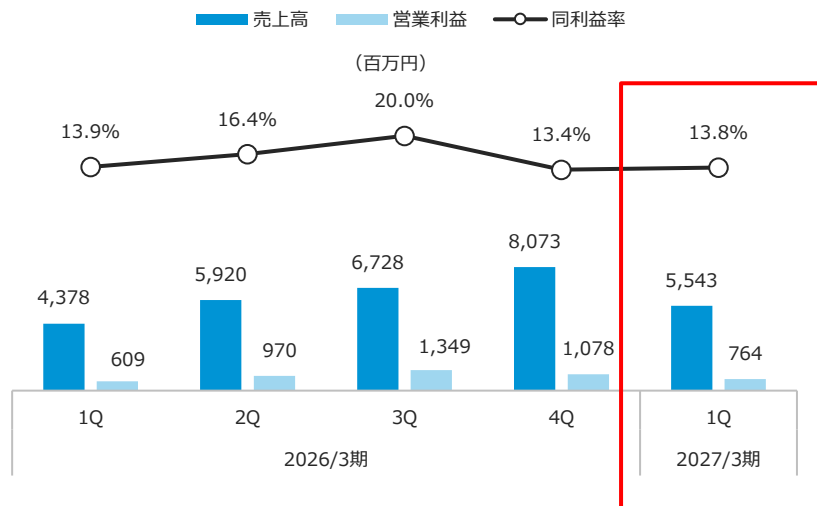
■ 2027/3期1Q：販売量増加により増収増益（対前年同期比）

- 売上：アルミ製錬用カソードブロックについて、中東情勢の影響で前四半期より遅延していた一部船積みが当四半期に行われたことによる販売数量増加等により前年同期比で増収。前四半期において、カソードブロックの船積みが集中していたため、前四半期比では減収
- 営業利益：前年同期比において、販売数量増加、為替レート円安（144円→159円/USD）が増益要因

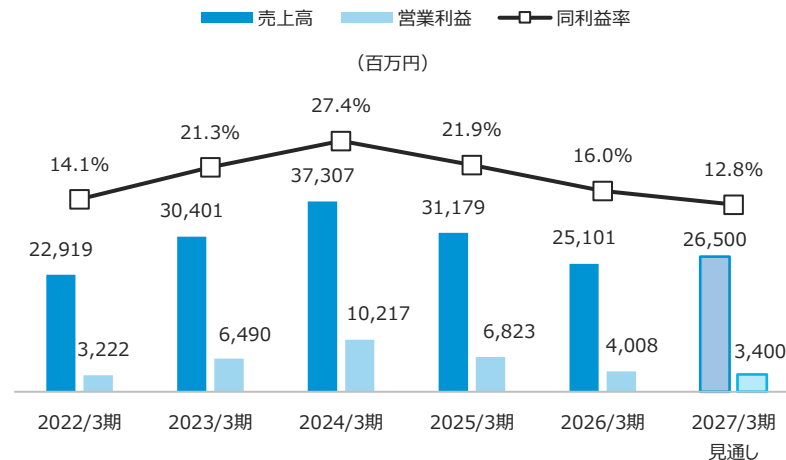
■ 2027/3期見通し：在庫調整解消進展により増収も、コストアップ[※]想定し減益

- カソードブロックの在庫調整解消を見込むも、価格下落・コストアップを想定し増収減益見込み
プラス・マイナス両面の影響が想定される中東情勢については、現時点では織り込まず

四半期ベース業績推移



年度ベース業績推移



2027/3期1Q 決算概要

- 2027/3期1Qは、**前年同期比で増収増益**
- アルミ製錬用カソードブロックは、中東情勢の影響で前四半期から遅延していた一部船積みが行われたことなどにより、販売数量が増加し増収。為替レートの円安も増収要因
- 人造黒鉛電極は、粗鋼生産の低迷、競争環境激化により減収
- 営業利益は、カソードブロックの販売量増加、円安により増益
- 特別利益に、政策保有株式の売却益（527百万円）を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比で増益

百万円	2026/3期	2027/3期	前期1Q比較		2027/3上期	
	1Q	1Q	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	4,378	5,543	+1,164	+26.6%	10,600	52.3%
アルミニウム製錬用カソードブロック	2,485	3,774	+1,288	+51.8%	6,400	59.0%
人造黒鉛電極	1,010	819	▲191	▲18.9%	2,500	32.8%
特殊炭素製品	691	727	+35	+5.1%	1,300	56.0%
ファインパウダー及びその他炭素製品	190	221	+31	+16.4%	400	55.4%
営業利益	609	764	+154	+25.4%	1,100	69.5%
営業利益率	13.9%	13.8%	▲0.1pt	-	10.4%	-
EBITDA*	891	1,195	+304	+34.1%	2,200	54.3%
EBITDAマージン	20.4%	21.6%	+1.2pt	-	20.8%	-
経常利益	948	1,177	+228	+24.1%	1,600	73.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	672	1,224	+552	+82.2%	1,300	94.2%
輸出比率	61.0%	71.5%	+10.5pt	-	66.2%	-
期中為替レート（円/USD）	144.07	159.47	+15.40	-	155.00	-

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

四半期推移

- 前四半期比では、カソードブロックの販売数量減少により、減収減益
- 当四半期は、一部設備更新工事等に伴う稼働率低下の影響があった一方、前期末の減損による減価償却費負担の軽減により、営業利益率は前四半期並みを維持

百万円	2026/3期				2027/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	4,378	5,920	6,728	8,073	5,543
アルミニウム製錬用カソードブロック	2,485	4,162	4,819	5,481	3,774
人造黒鉛電極	1,010	1,006	1,135	1,330	819
特殊炭素製品	691	577	586	1,040	727
ファインパウダー及びその他炭素製品	190	173	187	220	221
営業利益	609	970	1,349	1,078	764
営業利益率	13.9%	16.4%	20.0%	13.4%	13.8%
EBITDA	891	1,296	2,051	1,817	1,195
EBITDAマージン	20.4%	21.9%	30.5%	22.5%	21.6%
経常利益	948	1,335	1,907	1,490	1,177
親会社株主に帰属する当期純利益	672	961	1,351	▲3,059	1,224
輸出比率	61.0%	77.3%	76.6%	73.8%	71.5%
期中為替レート (円/USD)	144.07	147.23	154.47	156.44	159.47

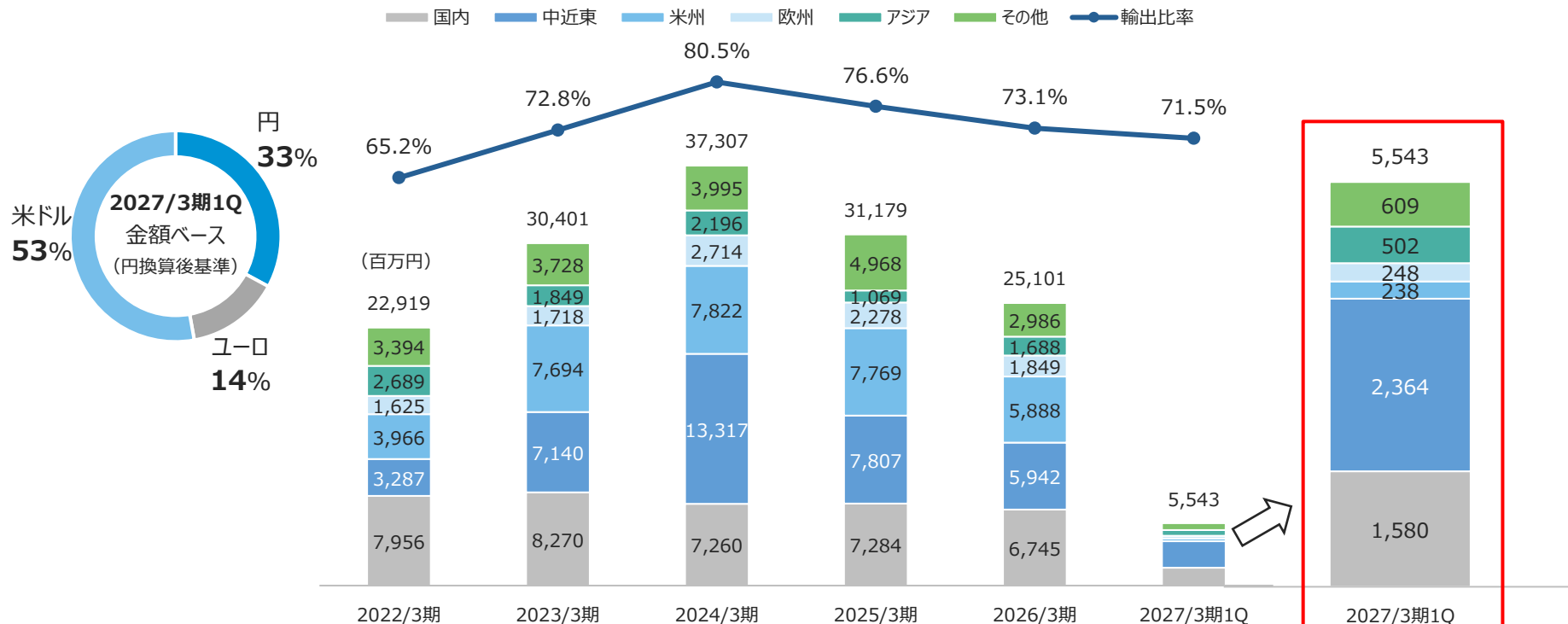
地域別売上高

- 2024/3期以降、中近東、米州向けの売上は、アルミ製錬用カソードブロックの在庫調整の影響で、減少傾向が顕著
- 2027/3期1Qでは、中東情勢の影響で遅延していた一部船積みが行われたことにより中近東向け割合が増加
- 米州向けは1Q時点では低水準だが、通期では従来と同様に相応の割合を占める見通し

年間為替感応度*

営業利益：約1億円

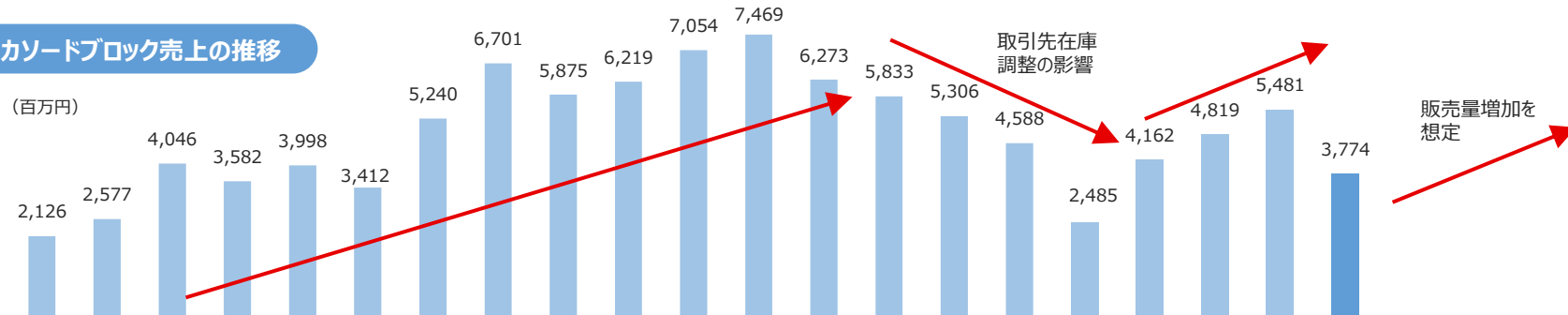
*1円円安（対USD）時の増益



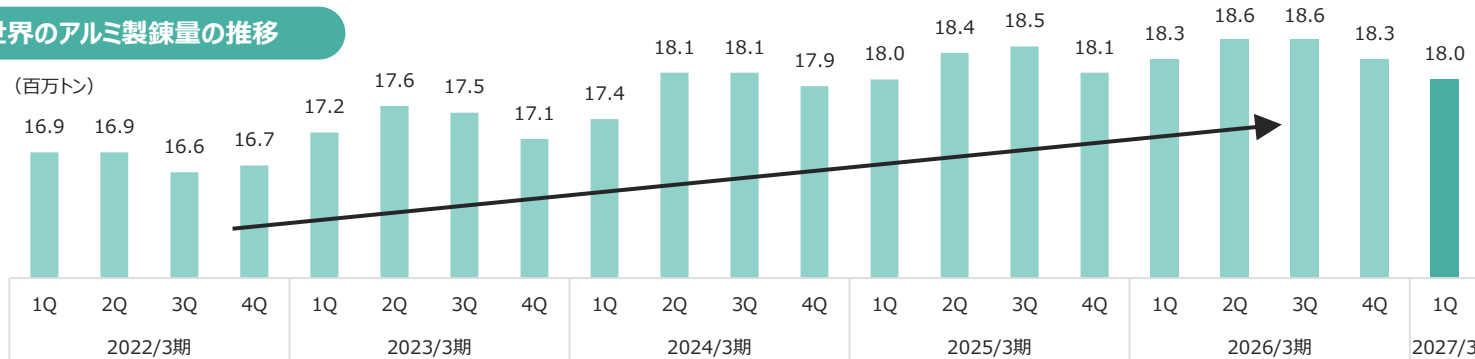
アルミ製錬用カソードブロックの売上トレンド

- カソードブロック売上高は、2027/3期も前期と同様に下期に向けて増加を見込む。顧客の在庫調整は徐々に解消へ向かうと想定
- 実需を示す世界のアルミ製錬量は近年おおむね横ばいで推移しており、カソードブロックの基礎需要は堅調と認識

当社カソードブロック売上の推移



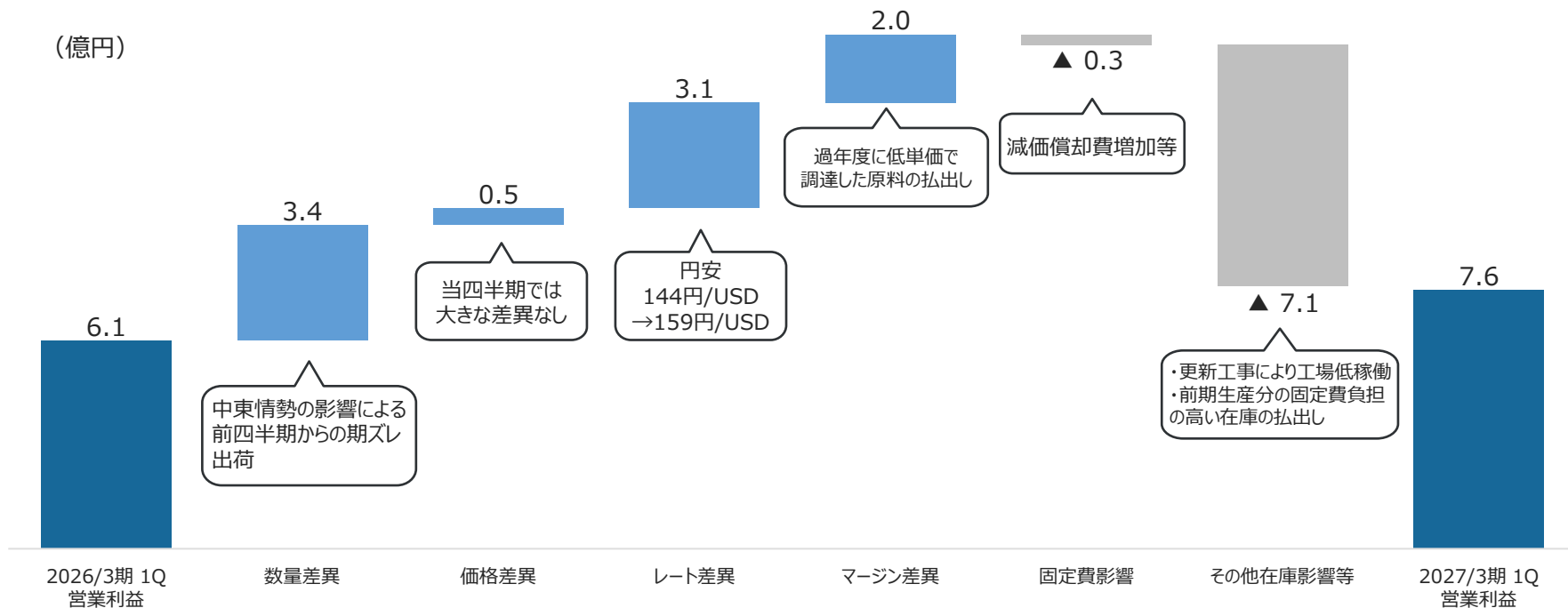
世界のアルミ製錬量の推移



2027/3期 1Q営業利益 増減益分析

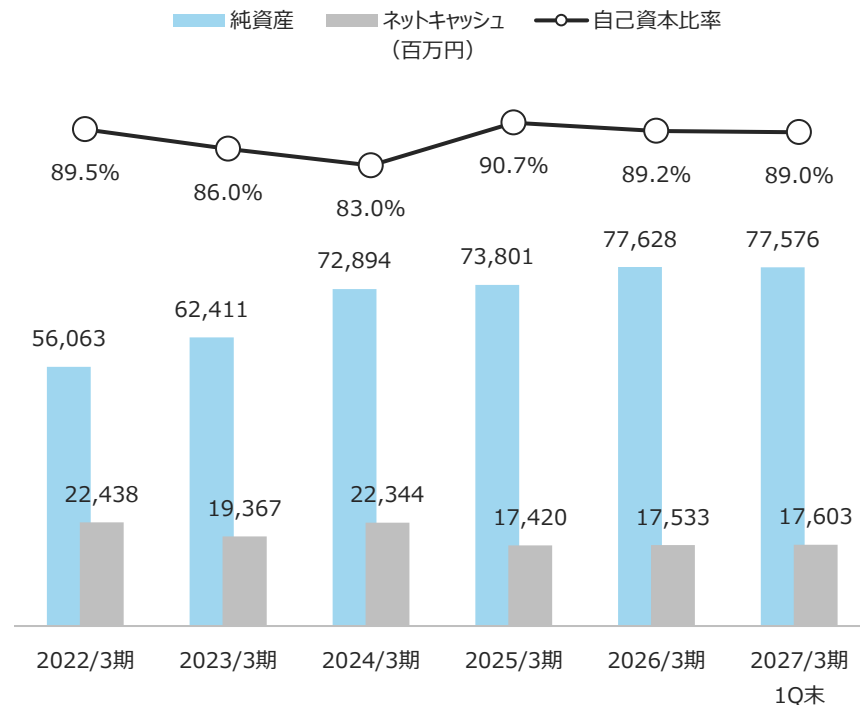
- 前年同期比では、カソードブロックの期ズレ出荷による販売数量増加や、為替レートの円安が増益要因
- 過年度に低単価で調達した原料の払出しにより売上原価が低下し、マージン差異は増益要因。一方、中東情勢等を背景に、今後の原燃料・エネルギー価格には上昇懸念
- その他在庫影響等は、設備更新工事等に伴う工場稼働率低下に加え、前期末の減損計上前に製造され、減価償却費等の固定費を多く含む在庫が当四半期に出荷され、売上原価として計上されたことにより減益要因

(億円)



- 売上債権は回収により大きく減少。設備投資や自己株式取得を実施した一方、政策保有株売却等によりネットキャッシュは前期末からおおむね横ばい
- 自己資本比率は89%であり、財務体質は健全維持。今後、キャッシュを成長投資に振り向ける

百万円	2026/3期	2027/3期1Q末	増減額
流動資産	45,663	44,401	▲ 1,261
現預金	17,533	17,603	+70
売上債権（売掛金・電子記録債権）	9,378	6,990	▲ 2,388
棚卸資産	18,253	18,928	+675
固定資産	41,353	42,710	+1,357
有形固定資産	13,316	14,422	+1,105
投資有価証券	27,813	28,065	+251
総資産	87,016	87,112	+95
負債	9,388	9,535	+147
仕入債務	1,934	2,444	+509
未払法人税等	863	418	▲ 444
純資産	77,628	77,576	▲ 51
株主資本	62,446	62,139	▲ 307
其他有価証券評価差額金	14,924	15,192	+267
負債・純資産合計	87,016	87,112	+95



2027/3期 連結決算見通し

※決算見通しは、2026年5月14日開示内容から変更なし

02.

中東情勢が当社業績に与える定性的影響

- 中東情勢は、アルミ製錬用カソードブロック需要の押し上げ要因となる一方、燃料・電力・原料・物流コストの上昇や供給制約要因となる可能性あり
- 現時点では定量的な影響見通しは困難であり、業績予想にはこれらの影響を織り込まない前提で算定

マイナス
要因

コスト、供給

コスト

- ・ 石油製品の供給の逼迫を起点に、燃料・電力・原料・資材・物流コストが上昇する可能性

供給

- ・ 石油製品の供給逼迫が継続する場合、工場操業上の制約となる可能性
- ・ 海上輸送の混乱等によるサプライチェーンの不確実性

プラス
要因

需要（カソードブロック）

- ・ 地政学リスクの台頭による顧客の部材確保加速、さらにそれに伴う在庫積み増しや、生産再開需要増加の可能性
- ・ 中東地域におけるアルミ製錬事業の先行不透明感台頭が他地域でのアルミ生産増加を促進する可能性
- ・ コスト上昇局面において、販売価格是正・転嫁の交渉余地が拡大する可能性

*留意点
顧客操業継続性、他地域への需要シフト、価格転嫁の実現度はいずれも不透明

2027/3期決算見通し

- 増収減益の見通し。売上面では、人造黒鉛電極は、国内顧客向けや太物電極拡販を前提に増収見込む
- 主力のアルミ製錬用カソードブロックは微増収。在庫調整解消進展に伴う数量増を見込むも、需給緩和期の改定価格の影響が下押し要因に
- 利益面ではカソードブロックの価格低下等が影響し、営業減益見込む
- 2026/3期の減損影響一巡から、親会社株主に帰属する当期純損益は黒字回復

百万円	2026/3期	2027/3期見通し	増減額	増減率
売上高	25,101	26,500	+1,398	+5.6%
アルミニウム製錬用カソードブロック	16,949	17,300	+350	+2.1%
人造黒鉛電極	4,482	5,400	+917	+20.5%
特殊炭素製品	2,896	3,000	+103	+3.6%
ファインパウダー及びその他炭素製品	772	800	+27	+3.5%
営業利益	4,008	3,400	▲608	▲15.2%
営業利益率	16.0%	12.8%	▲3.2pt	—
EBITDA*	6,056	5,550	▲506	▲8.4%
EBITDAマージン	24.1%	20.9%	▲3.2pt	—
経常利益	5,683	4,400	▲1,283	▲22.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲74	3,000	+3,074	黒字転換
輸出比率	73.1%	71.5%	▲1.6pt	—
期中為替レート（円/USD）	151.64	155.00	+3.36	—

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2027/3期決算見通し(半期別)

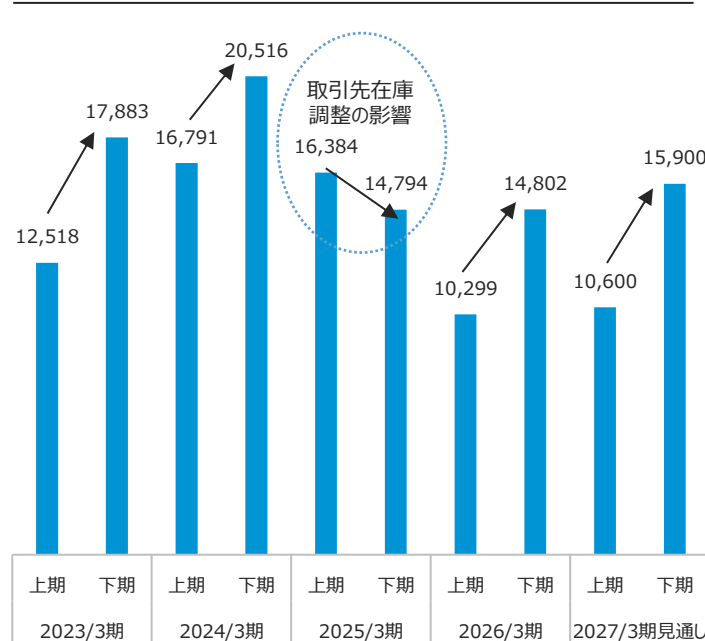
- 2027/3期見通しを半期別に見ると、アルミ製錬用カソードブロックの出荷タイミングの偏りにより、下期偏重を見込む
- 上期は2026/3期下期比で減収減益を想定。カソードブロックは出荷タイミングの影響により上期は低水準となり、価格低下もあり減益
- 在庫調整解消の進展効果は下期中心に発現を見込む

百万円	2026/3期実績		2027/3期見通し	
	上期	下期	上期	下期
売上高	10,299	14,802	10,600	15,900
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,648	10,301	6,400	10,900
人造黒鉛電極	2,017	2,466	2,500	2,900
特殊炭素製品	1,269	1,627	1,300	1,700
ファインパウダー及びその他炭素製品	364	409	400	400
営業利益	1,580	2,428	1,100	2,300
営業利益率	15.3%	16.4%	10.4%	14.5%
EBITDA*	2,187	3,869	2,200	3,350
EBITDAマージン	21.2%	26.1%	20.8%	21.1%
経常利益	2,284	3,399	1,600	2,800
親会社株主に帰属する当期純利益	1,634	▲1,708	1,300	1,700
輸出比率	70.4%	75.1%	66.2%	75.0%
期中為替レート (円/USD)	146.05	155.52	155.00	155.00

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

半期ベース売上高推移・見通し

(百万円)



四半期推移見通し

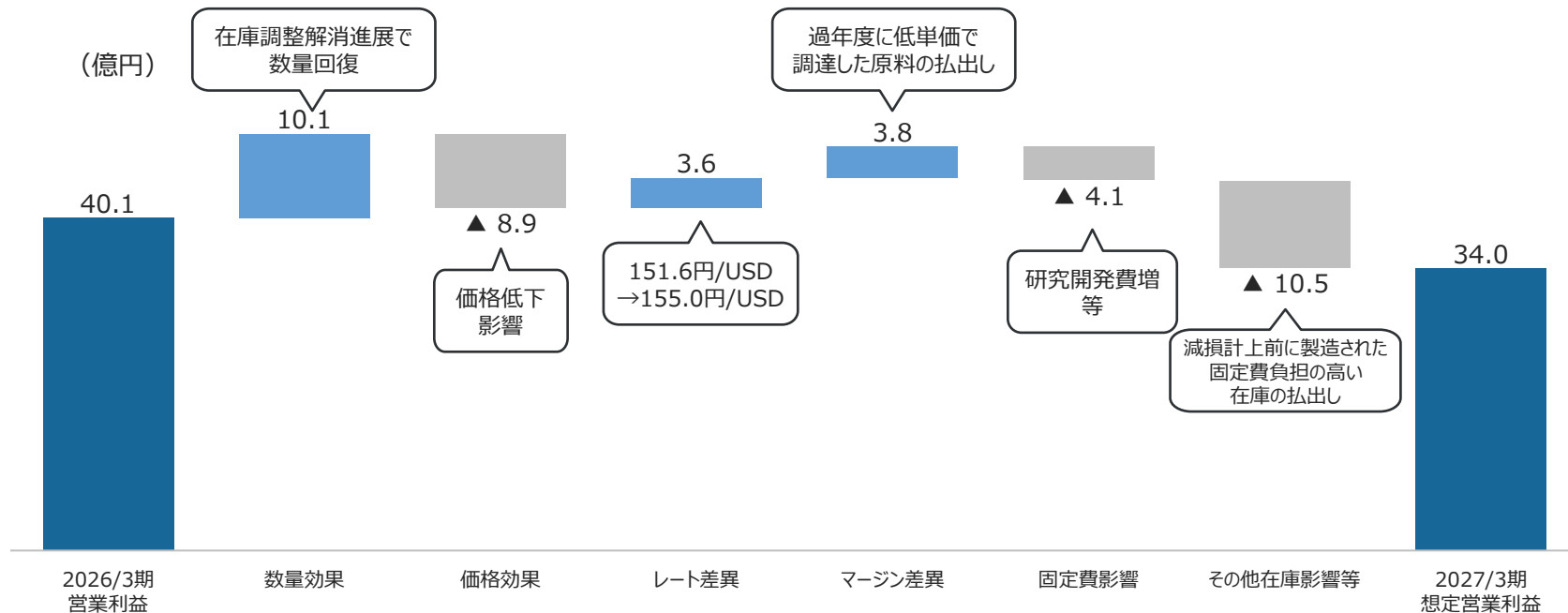
百万円	2026/3期				2027/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q見通し**	下期見通し
売上高	4,378	5,920	6,728	8,073	5,543	5,056	15,900
アルミニウム製錬用カソードブロック	2,485	4,162	4,819	5,481	3,774	2,625	10,900
人造黒鉛電極	1,010	1,006	1,135	1,330	819	1,680	2,900
特殊炭素製品	691	577	586	1,040	727	572	1,700
ファインパウダー及びその他炭素製品	190	173	187	220	221	178	400
営業利益	609	970	1,349	1,078	764	335	2,300
営業利益率	13.9%	16.4%	20.0%	13.4%	13.8%	6.6%	14.5%
EBITDA*	891	1,296	2,051	1,817	1,195	1,004	3,350
EBITDAマージン	20.4%	21.9%	30.5%	22.5%	21.6%	19.9%	21.1%
経常利益	948	1,335	1,907	1,490	1,177	422	2,800
親会社株主に帰属する当期純利益	672	961	1,351	▲3,059	1,224	75	1,700
輸出比率	61.0%	77.3%	76.6%	73.8%	71.5%	66.2%	75.0%
期中為替レート (円/USD)	144.07	147.23	154.47	156.44	159.47	155.00	155.00

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

** 2Q見通しは、2026年5月14日開示の上期見通しから1Q実績を差し引いた数値

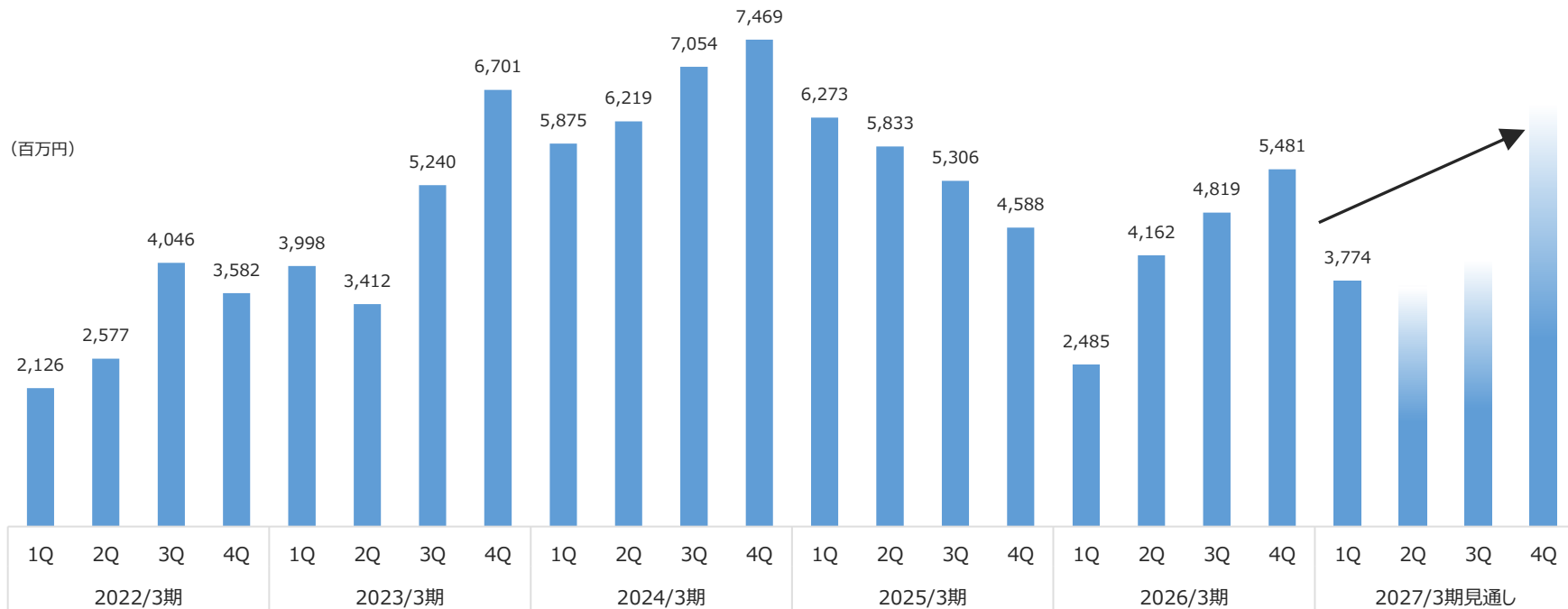
2027/3期営業利益見通し 想定増減益分析

- 減益を想定する主因は価格低下と在庫影響。研究開発費増も減益要因だが、将来の成長に向けた先行投資の位置づけ
- 上記マイナス要因に対し、販売数量増加、円安、マージン改善などがプラス要因として寄与
- その他在庫影響等は、前期末の減損計上前に製造され、減価償却費等の固定費を多く含む在庫が当期に出荷され、売上原価として計上されることによる減益要因
- なお、現時点で中東情勢の影響は織り込んでいないことに留意

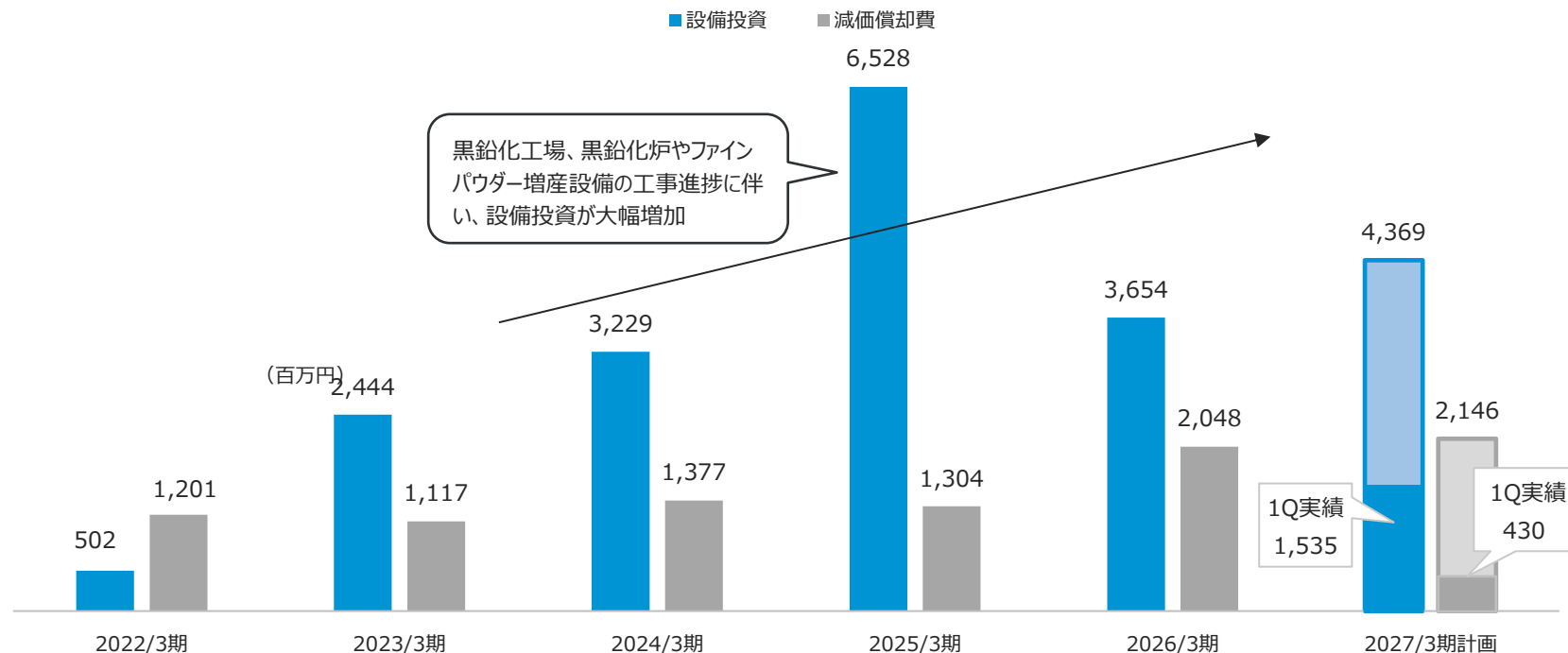


アルミ製錬用カソードブロック売上見通し

- カソードブロックの売上は、上期は出荷タイミングの影響により低水準となるものの、下期に向けて回復を見込む。カソードブロックに季節性はなく、出荷タイミングの影響による
- カソードブロックの価格は多くが年間契約となっており、2026年価格は在庫調整局面での価格改定により売り手には厳しい水準

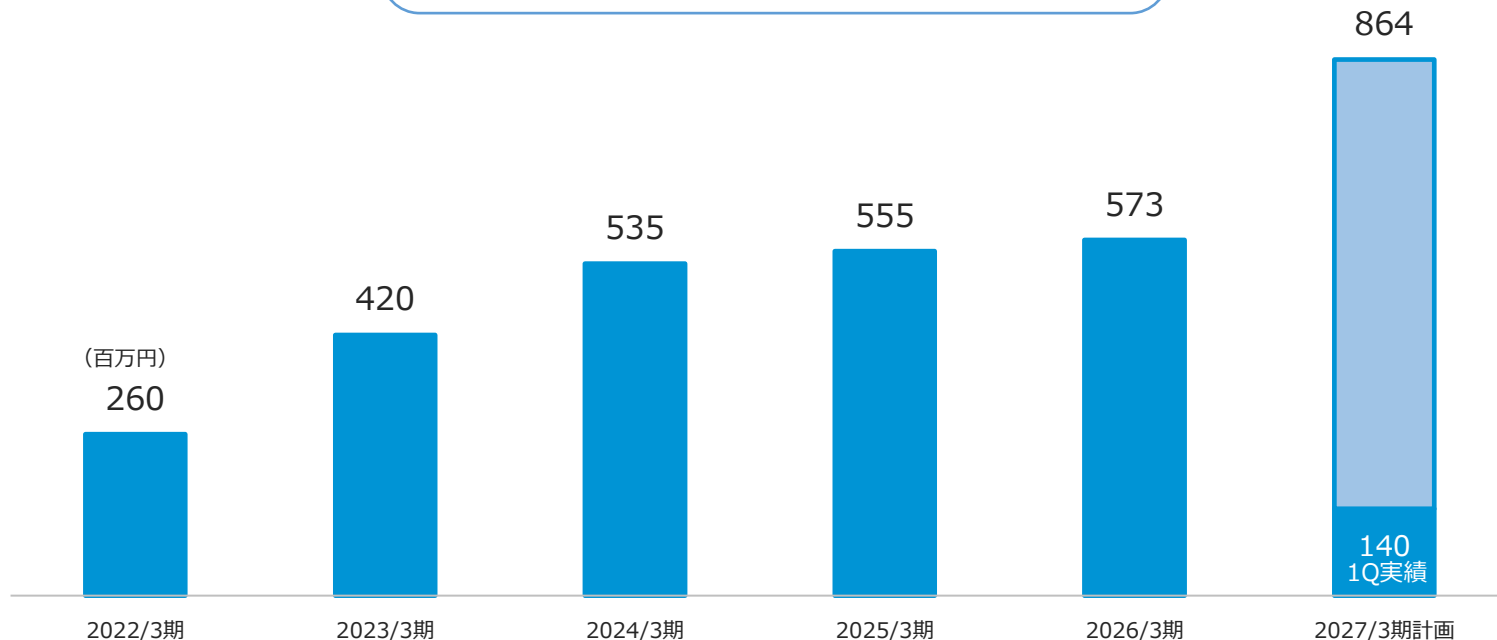


- 2025/3期の投資集中局面を除き、設備投資額は漸増傾向で推移
- 減価償却費も漸増の見通し。2026/3期に設備の減損を計上した一方、その他設備投資の進捗により、2027/3期の減価償却費は前期比で概ね横ばいを見込む



- 2027/3期は、前期からの持ち越し分も含め、CO₂資源化技術等のテーマを中心に大幅増加計画
 - 2026年5月より、熔融塩電解技術を用いたCO₂由来固体炭素製造のベンチスケール検証を開始（産学5者※体制）
- ※5者は、コスモエネルギーホールディングス株式会社（コスモ石油株式会社）、国立大学法人京都大学、アイエムセップ株式会社、住友重機械工業株式会社及び当社

カーボンニュートラルに貢献する新製品開発を加速



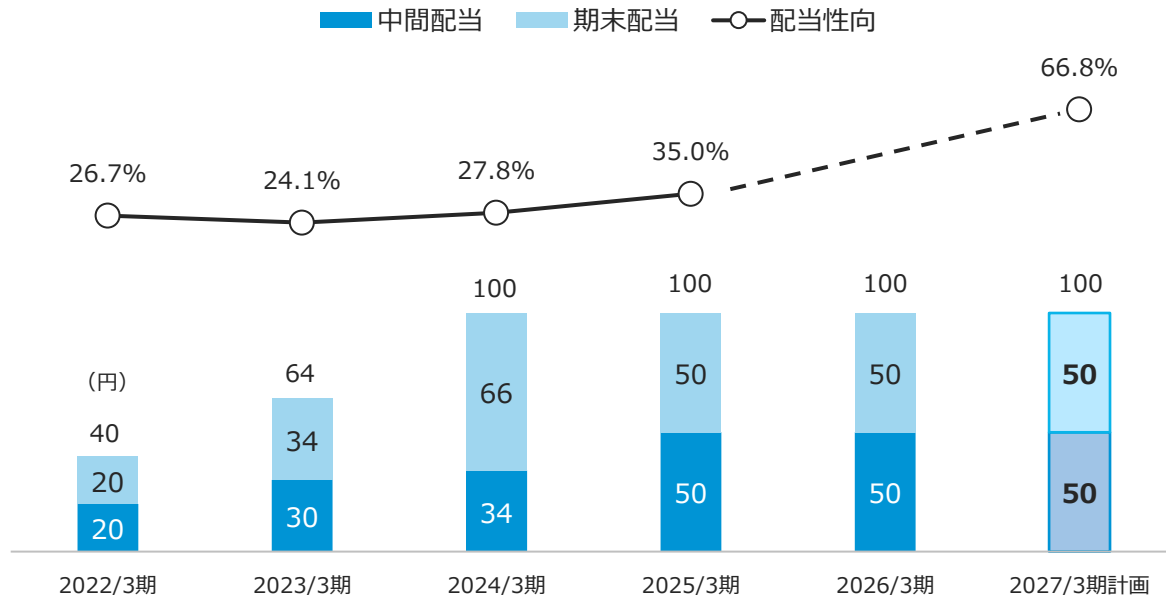
- 4月に開示した中長期経営方針に基づき、配当と自己株式取得を計画
- 2027/3期は、配当方針に基づき、通期100円配当維持を計画
- 2026年5月14日に市場買付による自己株式取得を決議（上限10億円、450千株、期間2026年5月15日～11月30日）

配当方針

収益性の向上と財務の健全性を図りつつ、
**通期100円配当、または連結配当性向30%
のいずれか高い方を目安に安定的に実施**

自己株式取得方針

業績の動向、資本の状況、市場環境等を
考慮の上、機動的に実施



(注) 1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。
比較のために、2022/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

APPENDIX

03.

参考指標（連結）

項目	単位	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
設備投資	百万円	502	2,444	3,229	6,528	3,654
減価償却費	百万円	1,201	1,117	1,377	1,304	2,048
研究開発費	百万円	260	420	535	555	573
金融収支	百万円	262	526	725	960	977
売上高	百万円	22,919	30,401	37,307	31,179	25,101
海外売上比率	%	65.2	72.8	80.5	76.6	73.1%
期中為替レート	円/USD	112.89	134.84	145.34	152.76	151.64
営業利益	百万円	3,222	6,490	10,217	6,823	4,008
EBITDA	百万円	4,423	7,607	11,595	8,127	6,056
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,039	5,402	7,299	5,750	▲74
ROE	%	5.6	9.1	10.8	7.8	▲0.1
営業CF	百万円	7,615	2,337	7,794	4,548	7,766
実質投資CF	百万円	▲ 944	▲ 4,319	▲ 3,389	▲ 5,974	▲5,569
実質FCF	百万円	6,671	▲ 1,981	4,404	▲ 1,426	2,197
財務CF	百万円	▲826	▲1,027	▲1,393	▲ 2,989	▲2,011
現金及び現金同等物	百万円	22,188	19,087	9,424	5,070	3,613
1株当たり年間配当金	円/株	40	64	100	100	100
配当性向	%	26.7	24.1	27.8	35.0	-

（注）1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。比較のために、2022/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

ご留意点

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先
SECカーボン株式会社 総務広報部
06-6491-8600（代表）
<https://sec-carbon.com/contact/>